

令和7年度事業計画(音楽)

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

公益目的事業3（顕彰事業）

1. 「第56回サントリー音楽賞」「第24回佐治敬三賞」（令和6年度）の贈賞

令和7年2月27日（木）（音楽賞）・1月26日（日）（佐治敬三賞）選考会でそれぞれ選定、
3月17日（月）理事会にて決定後、日程調整し、贈賞式を開催する。

2. 「第57回サントリー音楽賞」の選定

- | | |
|-------|--|
| ア. 対象 | 令和7年1月1日から12月31日までの1年間に、わが国の洋楽の発展に
最も顕著な功績のあった個人または団体 |
| イ. 賞 | 賞状、賞金（700万円） |
| ウ. 選考 | 候補者選考会：令和8年1月（予定）、受賞者選考会：令和8年3月（予定） |
| エ. 贈賞 | 受賞者決定後に調整のうえ贈賞式を（令和8年度に）開催 |

3. 「第25回佐治敬三賞」の選定

- | | |
|-------|--|
| ア. 対象 | 令和7年1月1日から12月31日までの1年間に行われる音楽公演で
チャレンジ精神に満ちた企画でありかつ演奏成果の優れたもの |
| イ. 賞 | 賞状、賞金（200万円） |
| ウ. 公募 | 令和7年上期実施公演：令和6年9～10月に応募を受付済み
同 下期実施公演：令和7年3～4月に応募受付 |
| エ. 選考 | 応募公演について公演視察を実施したうえで、選考会は令和8年1月開催予定 |
| オ. 贈賞 | スケジュール調整のうえ音楽賞と同時に令和8年度開催予定 |

4. 第35回「芥川也寸志サントリー作曲賞」の選考、決定、贈賞

2024年1月1日から12月31日の間に国内外で初演された新進日本人作曲家による管弦楽作品
の中で最も清新かつ豊かな将来性を内包する作品を選定する。最終選考は実演と共に公開の場で
行う。賞金は150万円。

ア. 第1次選考会

令和7年3月5日（水）に開催し、第35回芥川也寸志サントリー作曲賞の選考対象となる
候補作品について譜面および録音による選考を行い、候補作品数曲を選出する。

イ. 第35回「芥川也寸志サントリー作曲賞」選考演奏会

令和7年8月30日（土）15:00～、サントリーホール 大ホール
サマーフェスティバルの一環として開催。第33回受賞記念委嘱の向井航氏作品を初演
したのち、候補作品を演奏し、演奏終了後、3人の選考委員が公開による選考を行って
1曲を選定し、第35回「芥川也寸志サントリー作曲賞」（150万円）を贈賞する。選考会
司会は長木誠司氏。なお、受賞作曲家には新作を委嘱（委嘱料100万円）し、完成後、当
財団主催の演奏会で初演する。

公益目的事業4（助成事業）

1. 佐治敬三賞推薦コンサート活動

意欲的でチャレンジングな佐治敬三賞応募公演の中から、一部を紹介し、実際に聴いてもらう機会を提供するために、佐治敬三賞推薦コンサートとして選定、チケットプレゼントを行っている。令和7年度は、第25回佐治敬三賞応募公演のうち令和7年4~12月開催公演から推薦されたコンサートを、ホームページなどで告知し、抽選で招待する。計20公演程度を推薦する。

2. 「第12回サントリー芸術財団名器特別賞」として学生向けに楽器を貸与

世界的文化遺産である弦楽器名器を保全し次世代に継承するとともに、若手音楽家の育成を目的に、以下のとおり「第12回サントリー芸術財団名器特別賞」受賞者を選定すると共に、受賞者に財団所蔵バイオリンを無償で3年間貸与する。

- ア. 選考方法 「第79回全日本学生音楽コンクール全国大会 バイオリン部門（中学校の部・高校の部）」（主催：毎日新聞社）において毎日新聞社が選定する選定委員が受賞者および推奨楽器を決定。
- イ. 選考時期 令和7年12月初旬（予定）
- ウ. 選考会場 横浜みなとみらいホール（予定）

3. 演奏家向け楽器貸与

世界的文化遺産である弦楽器名器を保全し次世代に継承するとともに、若手音楽家の更なる活躍、ひいてはクラシック音楽の発展に貢献することを目的に、以下のとおり演奏家向け楽器貸与を行う。

- ア. 貸与楽器 以下の楽器について、募集中の新規貸与希望者から、複数の選考委員による選考のうえ貸与を開始する。
- ① PIETRO GIACOMO ROGERI (1710年製作 チェロ)
② ANTONIO STRADIVARI (1727年製作 バイオリン)
③ PAOLO ANTONIO TESTORE (1728年製作 ヴィオラ)
- イ. 貸与時期 令和7年度5月下旬（予定）

4. その他の助成

ア. 活動助成

- (1) ビオラ・スペース（東京国際ヴィオラコンクールの活動に対して）
(2) ミュージック・フロム・ジャパン（米国への日本人音楽家紹介活動に対して）

イ. 運営助成

- (1) 日本作曲家協議会
(2) 日本現代音楽協会
(3) 日本演奏連盟

以上